



2023年2月10日

各位

会社名 レオン自動機株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小林 幹夫  
(コード番号: 6272 東証プライム市場)  
問合せ先 常務執行役員 管理本部長  
福田 忠男  
(TEL. 028-665-1111)

## 通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2022年5月12日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 通期業績予想の修正

(1) 2023年3月期通期業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

|                         | 売上高           | 営業利益         | 経常利益         | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|---------------|--------------|--------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A)               | 百万円<br>31,420 | 百万円<br>2,540 | 百万円<br>2,550 | 百万円<br>2,190            | 円 銭<br>81.70   |
| 今回修正予想(B)               | 35,100        | 2,540        | 2,690        | 2,190                   | 81.70          |
| 増減額(B-A)                | 3,680         | 0            | 140          | 0                       |                |
| 増減率(%)                  | 11.7          | 0.0          | 5.5          | 0.0                     |                |
| (ご参考)前期実績<br>(2022年3月期) | 26,585        | 1,099        | 1,468        | 1,486                   | 55.47          |

(2) 業績予想修正の理由

当社グループの売上高は、食品加工機械製造販売事業において、各地域の設備需要が回復したこと、アメリカ地域の食品製造販売事業が大幅に増加したこと、外国為替市場で想定以上に円安になったことにより前回の予想を上回る見込みとなりました。

また、経常利益は前回予想を上回りましたが、営業利益、および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、材料費の高騰による売上原価の増加及び荷造運搬費の高騰による販売費および一般管理費の増加により前回予想通りの水準となりました。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 2023年3月期配当予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

|                        | 年間配当金        |              |              |
|------------------------|--------------|--------------|--------------|
|                        | 第2四半期末       | 期末           | 合計           |
| 前回発表予想<br>(2022年5月12日) | 円 銭<br>12.00 | 円 銭<br>12.00 | 円 銭<br>24.00 |
| 今回修正予想                 | —            | 未定           | 未定           |
| 当期実績                   | 12.00        | —            | —            |
| 前期実績<br>(2022年3月期)     | 8.00         | 8.00         | 16.00        |

### (2) 配当予想修正の理由

当社グループは、株主の皆さまに対する利益還元を最重要政策として位置付けており、将来にわたる事業展開のための内部留保の充実などを総合的に勘案し、株主の皆さまには、連結配当性向30%を目標とする配当を通じて業績に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、1株につき12円の予想としておりましたが、原材料価格や荷造運搬費等の経費支出の動向が依然不透明であり、当年度の収支への影響を見極める必要があるため、未定に修正させていただきました。

(注) 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上